

平成 23・24 年度 土木学会複合構造委員会 第 4 回幹事会議事録

1. 日 時：平成 23 年 10 月 26 日(水) 14:00～17:00
2. 場 所：土木学会 会議室 C
3. 出席者：杉浦委員長，島副委員長，西崎幹事長，大山幹事，斉藤幹事，武知幹事，広瀬幹事，古市幹事，溝江幹事，渡辺幹事，竹原事務局員
(欠席者：池田幹事，大垣幹事，奥井幹事，葛西幹事，下村幹事，松本幹事)

4. 配布資料

資料 幹 4-0	平成 23・24 年度第 4 回複合構造委員会幹事会議事次第
資料 幹 4-1	平成 23・24 年度第 3 回複合構造委員会幹事会議事録(案)
資料 幹 4-2-1	第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 連絡・報告事項
資料 幹 4-2-2	第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム プログラム
資料 幹 4-2-3	第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 行事に関する計画書
資料 幹 4-2-4	第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 優秀講演者表彰制度
資料 幹 4-2-5	第 9 回複合・合成構造の活用に関するシンポジウム 論文集特別号発刊検討
資料 幹 4-3	土木学会規定類の確認について
資料 幹 4-4	平成 24 年度 事業計画及び予算要求調書
資料 幹 4-5	JSCE2010 平成 23 年自己評価 (中間)
資料 幹 4-6	(欠番)
資料 幹 4-7-1	出版関連報告
資料 幹 4-7-2	複合構造シリーズ 05 出版のお知らせ
資料 幹 4-7-3	出版企画書 複合構造レポート 05 「FRP 接着による鋼構造物の補修・補強技術の現状と展望(仮称)」
資料 幹 4-7-4	出版企画書 複合構造レポート 06 「樹脂材料による複合技術最先端(仮称)」
資料 幹 4-8	複合構造標準示方書 改訂委員会 委員会名簿
資料 幹 4-9	複合構造の基礎に関する書籍に対する査読・意見照会結果と対応
資料 幹 4-10	300 年プロジェクト

5. 議事内容

(1)委員長挨拶

幹事会開催にあたり，杉浦委員長より挨拶があった。

(2)平成 23・24 年度 第 3 回複合構造委員会幹事会議事録の確認 (資料 幹 4-1)

溝江幹事より，前回幹事会の議事録(案)が読み上げられ，承認された。

(3)第 9 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウムについて (資料 幹 4-2-1～4-2-5)

溝江幹事より，「第 9 回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」の準備状況について報告がなされた(10 月 26 日(水)時点，シンポジウムへの事前参加申込者：90 名，現場見学申込者：24 名)。

表彰制度に関するメール審議を行ったところ，「質疑応答の際，共著の方による応答があった場合は，原則“×”の評価を行うことになっているが，それに伴い，議論が活発化しなくなるかもしれない」という意見が出された。そこで，評価表記入上の留意事項から，上記の記述を削除するとともに，「講演者の応答では聴講者の理解が得られないあるいは誤解が生じると判断される場合には，座長から共

同研究者に対し発言を求めるなどしてください。」という一文を追記することにした。

表彰者の選定は、まず、11月30日(水)開催のシンポジウム小委員会内で行い、その結果を、12月7日(水)開催の幹事会で審議し決定する。表彰者の方には、年末、学会から表彰状を発送する。

最後に、再査読システムを構築し、「複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」に投稿された論文の中から良い論文を選び、土木学会論文集(特集号)を発刊する件に関して、参考となる「トンネル工学研究発表会」および「地震工学研究発表会」における流れに関して説明がなされた。議論の結果、「地震工学研究発表会」の流れに基づき、検討を重ねることになった。なお、このシステムは、構築に時間を要するため、「第10回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」から運用を開始する予定である。

(4) 規程類の確認について (資料 幹 4-3)

西崎幹事長より、土木学会が社団法人から公益社団法人へ移行したことに伴い、内部統治の観点から、規程類の確認を行っている旨の説明がなされた。そこで、事務局の“基本的な考え”に基づき、現行の委員会内規を委員会規則に変更するとの報告がなされた。なお、例えば、上述のシンポジウムの表彰規程などの位置付けはどのようになるのかをはっきりさせる必要があるのではとの意見が出された。

(5) 平成24年度 事業計画及び予算要求調書 (資料 幹 4-4)

西崎幹事長より、平成24年度の事業計画および予算要求調書について、主な行事は、①第4回 FRP 複合構造・橋梁に関するシンポジウム、②樹脂材料による複合技術に関する講習会、③FRP による構造物補修補強に関する講習会であり、要望額は881千円との説明がなされた。

(6) JSCE2010 平成23年自己評価 (中間) (資料 幹 4-5)

西崎幹事長より、JSCE2010 平成23年自己評価 (中間)について説明がなされた。

(7) 出版関係 (資料 幹 4-7-1～4-7-4)

武知幹事より、まず、複合構造委員会の出版図書の販売状況について報告がなされた。つぎに、複合シリーズ05「＜仮称＞複合構造の理論と設計」の出版にあたり、構造工学委員会に送付予定の「出版のお知らせ」について、文面の最終確認が行われた。最後に、複合構造レポート05「FRP 接着による鋼構造物の補修・補強技術の現状と展望(仮称)」および複合構造レポート06「樹脂材料による複合技術最先端(仮称)」の出版企画書について説明がなされた。

(8) 小委員会報告審議事項 (資料 幹 4-8)

複合構造標準示方書小委員会 (H101) (資料 幹 4-8)

渡辺幹事より、第1回目を9月末に開催し、年末に幹事会、第2回目を年明けに開催するとの報告がなされた。

震災調査小委員会 (H104)

西崎幹事長より、事業者を中心に被災した複合構造の調査を行い、今後の検討方針を明確にする旨の報告がなされた。

複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会 (H206)

渡辺幹事より、「第9回 複合・合成構造の活用に関するシンポジウム」のパネルディスカッションで成果報告を行い、引き続き、新たな委員の公募は行わず小委員会を継続したいとの要望が出された。

FRP 複合構造研究小委員会 (H208)

西崎幹事長より、今後、FRP の材料係数や部材係数の値を求めるための実験を行う予定であるとの報告がなされた。

FRP によるコンクリート構造の補強設計小委員会 (H209)

渡辺幹事より、活動期間を間違えており、至急、何らかの成果を出した後、小委員会を延長する手続きを行って欲しい旨を委員長に伝えたとの報告がなされた。

(9) 複合構造の基礎に関する書籍の審議について (資料 幹 4-9)

大山幹事より、複合構造シリーズ 05「〈仮称〉複合構造の理論と設計」の幹事からの査読および委員からの意見照会への対応について報告がなされた。その結果、査読への対応は了承することになった。一方、意見への対応は、委員の方に状況を報告するため、例えば、“未対応”という記述に対しては、具体的な理由を付記するなど、対応表の完成度を上げることになった。この対応表は、12月7日(水)開催の幹事会で最終確認し、その後、委員の方にメール配信する予定である。

今後は、原稿の最終確認を行った後、12月末に脱稿し、2012年3月末に出版、5～6月頃に講習会を開催する予定である。

書籍のタイトルは、幹事全員で案を持ち寄り、次回の幹事会で最終決定することになった。

(10) その他 (資料 幹 4-10)

渡辺幹事より、未来へのメッセージとして、全国の大学に、鋼、コンクリートならびに FRP などの試験体を置き暴露試験を行う「300 年 プロジェクト」について提案がなされた。今後は、企画 WG で詳細を検討することになった。

(11) 第 5 回幹事会

平成 23 年 12 月 7 日(水) 14:00～17:00 京都大学／吉田キャンパスにて開催

以 上
(記録・文責 大山 理)